

部設置条例で部を14から13に減

12月定例会議
総務企画常任委
12月9日(金)

12月定例会議・総務企画常任委員会
では7議案1陳情を審議しました。

- 委員長 寺岡 まゆみ(公明党) A
- 副委員長 瀧口 慎太郎(あつぎみらい) B
- 委員 釘丸久子(日本共産党)
- 井上 武(改革あつぎ) C
- 奈良 握(無会派) D
- 難波達哉(あつぎみらい) E
- 新川 勉(新政あつぎ) F

厚木市部設置条例の

一部改正(案)

平成29年4月1日から、部を14部から13部に変更する(課は75課から70課に減)。新たに「市長室」を設け、秘書課・広報課・危機管理課を置く。

釘丸久子議員 市長室に危機管理課を入れるというが、東日本大震災の後に変更すべきだったのではないかと。

行政経営課長 平成27年から検討してきた。災害時に情報を一元化し、初動体制を速やかにしていくため。

釘丸議員 実働部隊との棲み分けをする必要がある。体制はどうか。

課長 危機管理体制はこれまでどおり。一元化により迅速に対応できる。
釘丸議員 市民が利用しや

すいか。健康長寿課

と介護保険課は関連があり、本館2階で隣り合っている。

課長 窓口は移さないでいきたい。

釘丸議員 現在の河川みどり部と市街地整備部を一緒にして、新しく都市整備部をつくる。河川みどり部は環境教育常任委員会の所管であり、市街地整備部は都市経済常任委員会である。議会の所管が変わってくると思うが、部を分離できるのか。

総務部次長 議会の所管は委員会条例で決まっています。議会が2月定例会に提案することだと思おう。現条例は部単位であるが、分離はできると考える。

釘丸議員 14部が13部・室になる。部の人数が多くなり過ぎると人事管理が大変になる。
D 市長の元に危機管理課を置くのは納得できない。

採決の結果は賛成多数で可決

反対 奈良
賛成 釘丸・瀧口・井上・難波・新川

話題あれこれ

時速5キロで衝突の衝撃、シートベルトコンベンサー

シートベルトコンベンサー

12月11日から20日までの10日間、年末の交通事故防止運動が行われています。12月10日(土)、厚木市文化会館での「厚木市交通安全市民総ぐるみ大会」のあと、文化会館の駐車場で、JAFのシートベルトコンベンサー体験がありました。



トラックの荷台にある車用の座席に座り、シートベルトを締めます。ボタンを押してスタート。正面には道路の映像、音楽を聴きながらドライバー気分になったところで、時速5キロで動きだしたら、突然、白い車が横切っ



て、ぶつかった! その瞬間、シートベルトが肩に食い込み、エアバッグが飛び出した。たかが5キロと言っながら、かなりの衝撃であり、シートベルトが身を守ることが納得できました。普通の路上ではもっとスピードが出ていますから、衝撃はどれだけの「痛いこと」かと、ぞろぞろします。

機会があったら、ぜひシートベルトコンベンサー体験してみてください。

なお、コンベンサー(convince)とは納得させること、説得すること。

無事故で年末 笑顔で新年

今週の活動から

まちのにぎわいをつくろうと様々なイベントが企画・実施されますが、12月10日(土)は、厚木公園(はとぼっぽ公園)で「あつぎDEクリスマス」が初めて開かれました。主催は「まちなか活性化プロジェクト」と厚木市ですが、実施主体は厚木市内にある5大学の学生から成る「あつぎにぎわいアドベンチャー隊」です。ハンドメイドショップ、手作り体験、農大の野菜販売、2.5mのクリスマスツリーの飾り付けなど、多彩なコーナーがありました。農大の長ネギと里芋を買って、クリスマスツリーにオーナメントを飾り付け。



ツリーは12月25日まで、アミューの地下に飾っています。(釘丸久子議員)
アミューあつぎ地下のあつまで、「長崎県平戸産のイリコ詰め放題」(500円)に挑戦。袋の口いっぱいになるまで詰めたら、尻尾を下に花束のように差し込むのだと教り、隣のおばさんとおしゃべりしながら、積み木感覚でいっぱい入れました。毎朝の味噌汁のダシに使います。そのおばさんは犬にあげるのですって!(栗山香代子議員)



12月の法律相談

12月20日(火) 1時半~

前日迄の連絡を!